

事業報告書

団体名 NPO法人 ほっとハウス

協働事業名	知的障がい者の防災準備事業
<p>1. 補助事業の実施内容</p> <p>(1) 時期 平成30年4月12日～平成31年3月1日</p> <p>(2) 場所 加茂名コミュニティセンター大会議室等</p> <p>(3) 実施内容</p> <p>①ワークショップの開催 ほっとハウスのメンバーや保護者・ボランティアの方などが参加し、ワークショップを2回実施した。行政の防災担当者や、東日本大震災の時に実際に被災し、ボランティア活動をされた方をゲストに招き、体験談を話していただいた。その後、グループに分かれて前回話し合ったことを基に、災害時に必要な物・事を今からどのように準備していくか意見交換し、大きな模造紙にまとめた。</p> <p>②防災リュックの作成 ワークショップで洗い出された「防災リュックに入りたいものチェックリスト」と「自分たちがやることチェックリスト」を基に、防災リュックやコミュニケーションカードを作成した。</p> <p>③防災ピクニックの実施 加茂名コミュニティセンター大会議室にて、コミュニケーションカードを実際に使ってみるロールプレイや、簡易トイレ・簡易更衣室の練習を行った。婦人会の方が焚き出しをして、全員で試食した。</p> <p>(4) 効果 常時30名以上が参加しており、知的障がい者の家族や地域の人に関心が高いことが分かった。参加者からは、実際の災害に備えて、少しでも経験を積むことができ、良い機会だったとの声が多かった。</p> <p>(5) 役割分担 団体：講師手配、会場設営、ワークショップ・防災ピクニック運営、リュック作成 危機管理課：会場の手配、ワークショップ・防災ピクニックの講師及び参加、広報、助言</p> <p>2. 今後の事業展開 2年目は、「共助」をテーマに進めていく。障がい者に対して避難所等で周りの人が声をかけたり、手を差し伸べてくれやすくするため、知的障がい者とわかるような目印（防災ビブス・ヘルプマーク等）を、ワークショップを通し考え、作成する。また、作成したものを実際に災害が起きたときに使えるよう、練習をする。</p>	



《ワークショップの様子》

ワークショップでは、グラフィックファシリテーターの玉有朋子さんを招き、イラスト等を描いて分かりやすく行われた。



《防災リュック作成の様子》

リュックには手作りのヘルプマークを付けて、作成したコミュニケーションカードを吊るすなどの工夫をした。



《防災ピクニックの様子》

簡易トイレや簡易更衣室の練習のため、危機管理課の職員が実際に災害時に使用する簡易トイレを設置し、使用方法の説明をした。